

〈5月号〉

サッカーの漫画を描きたい

〈あらすじ〉

高校2年生の秋に転機が訪れ、漫画家への道を志した高橋陽一さん。本格的に漫画を始めたものの、なかなか認められず、苦しい日々が続いていた。そんな時に、少年漫画雑誌で佳作に輝いたことからプロへの道が開けた。しかし、アシスタントとして勉強する日々の中で、自分の漫画を描くことができず、苦しんだり、ヒット作に恵まれずに連載打ち切りの危機を迎えたりするなどの困難が待ち受けていた。そんな中で、生まれたのが『キャプテン翼』だった。国民的ヒット作を生み出した今でも、高橋さんは努力を続け、世界中の子供たちに夢や希望を与え続けている。

何度も挫折しながらも、なぜ高橋さんは漫画を描き続けることができたのだろうか？

漫画家になろうという夢をあきらめることができなかったから。

大空翼と自分を重ね合わせ、共に成長したいと思ったから。

佳作を受賞したことで、もっと上を目指そうと思ったから。

自分で決めたことは最後までやり遂げたかったから

一度覚悟したからには最後まで貫きたいから。



私立大に行って、親に迷惑をかけるわけにはいかなかったから。

いつか自分の漫画をみんなに読んでもらいたいという思いが強かったから。

困難に負けずに努力を続けるためにはどうすればいいのだろうか？

抽象的ではなく、明確ではっきりとした目標を持つこと。

常に向上心を持ち続け、現状に満足しないこと。

「好き」という気持ちを忘れず、楽しもうとする。

常に挑戦し続ける気持ちを持つこと。

誰かを笑顔にしたり助けたりすることにつながるんだという気持ちを持つ。

人を喜ばせたいという気持ちを持つこと。

「強い決意」がないと努力を続けることはできないと思う。

困難という壁に当たっても、折れない心の強さが必要。

人のため・周りの笑顔のため・誰かのために 頑張りたい！！